

光は闇の中に輝いている

—聖書的世界観とは—

イントロ

- (1) 今年の冬至は、12月22日である。
 - ① 昼が最も短い。夜が最も長い。
 - ② この時期に、クリスマスを迎えるのは意味深いことである。
- (2) **ヨハ1:5**
「光は暗闇の中で輝いている。暗闇は光を理解しなかった」
 - ① 光とは真理であり、イエス・キリストである。
 - ② 闇とはこの世の価値観であり、悪魔である。
 - ③ この世の価値観の中にいる人は、光を理解できない。
- (3) 聖書の中には、多くの偽預言者や偽教師が登場する。
 - ① 偽預言者の特徴
 - * 彼らは、耳障りがいいことを話し、人々の歓心を集める。
 - * 彼らは、隣人を自分の成功のために利用する。
 - * 彼らは、真理を理解できず、真理に従う者たちを迫害する。
 - ② 真の預言者の特徴
 - * 彼らは、闇とその原理を理解する。
 - * 彼らは、人々が痛みを感じても、本当のことを語る。
 - * 彼らは、光を指し示す。
- (4) 聖書は、神の自己啓示の書である。
 - ① 神がどういうお方であるかが分かる。
 - ② 神が創造された世界が、どのような原理で成り立っているかが分かる。
 - ③ 聖書的世界観がどういうものであるかが分かる。
 - * 世界観とは、サングラスのようなものである。
 - * 聖書的世界観の特徴を7つ上げる。

I. 神は宇宙の創造主であり、全知全能である。そして今も、すべてを支配している。

- (1) **創1:1**
「初めに、神が天と地を創造した」
- (2) **黙1:8**
「神である主、常にいまし、昔いまし、後に来られる方、万物の支配者がこう言われる。
『わたしはアルファであり、オメガである』」
- (3) 詩篇は、嘆きの中での賛美を記録している。
 - ① 変わる状況と変わらない神の守り。
- (4) **1テサ5:16~18**

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって、神があなたがたに求めておられることである」

II. 聖書は、神の自己啓示の書であり、誤りなき神のことばである。

(1) 2テモ 3：15～17

「聖書はあなたに知恵を与えてキリスト・イエスに対する信仰による救いを受けさせることができるのです。聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。それは、神の人が、すべての良い働きのためにふさわしい十分に整えられた者となるためです」

(2) 聖書の究極的著者は、ただひとりである。

①そのために用いられた人は、約40人いる。

(3) 「聖書を文字通りに解釈する」とは、著者の意図を正しく理解することである。

III. 絶対的な道徳基準は存在する。

(1) 被造世界は、倫理的・道徳的原理が支配する世界である。

(ILL) 粗悪な万年筆

(2) 旧約聖書：十戒

(3) 新約聖書：キリストの律法

IV. サタンは現実に存在する。

(1) 1ヨハ 3：8

「罪を犯す者は、悪魔から出た者である。悪魔は初めから罪を犯しているからである。神の子が現れたのは、悪魔のわざを滅ぼしてしまうためである」

(2) サタンは被造物であり、過去があり、現在があり、未来がある。

(3) サタンは、この世の支配者であり、人々の目に霊的覆いをかぶせる存在である。

(4) サタンは、偽りの世界観を人々に教え込んでいる。

V. イエス・キリストは神であるが、罪人を救うために人となられた。

(1) クリスマスは、救い主の降誕を祝う記念日である。

(2) イエスは、神としての在り方に固執せずに人となられた（愛と謙遜）。

(3) イエスは、罪人を救うために罪なき生涯を送られた。

(4) 1ペテ 2：22

「キリストは罪を犯したことがなく、その口に何の偽りも見いだされませんでした」

(5) イエスは、神の小羊として十字架の上で死なれた。

(6) イエスは、3日に復活し、死に勝利された。

(7) イエスは、やがて戻って来られる。

VI. 救いは神の賜物であり、努力によって勝ち取るものではない。

(1) エペ 2 : 8

「あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です」

(2) ルカ 23 : 34

「そのとき、イエスはこう言われた。『父よ。彼らをお赦してください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです』」

(3) 人は、恵みにより、信仰によって救われる。

VII. クリスチャンには福音を分かち合う責任がある。

(1) マタ 28 : 18~20

「イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。『わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け、また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るよう、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます』」